

[009]九州大学基幹教育院ラーニングアナリティクス センターNewsletter

<https://hdl.handle.net/2324/4400031>

出版情報 : LAC Newsletter. 9, pp.1-, 2021-02. Kyushu University Learning Analytics Center
バージョン :
権利関係 :



NEWSLETTER



メンテナンス情報

M2Bシステム停止期間

2021年3月8日(月) 9日(火) 10日(水) 15日(月) 16日(火) 17日(水) (6日間)

※定期メンテナンス期間中M2Bシステムにアクセスすることはできませんのでご注意ください。



M2B(みつば)学習支援システム講習会(教職員用)を開催します



基幹教育院主催の全学FDとして、本学の教職員を対象にM2B学習支援システム講習会を開催します。

今回はオンライン(Teams)対面同時開催で行い、初級編、中・上級編の2部構成です。

途中退席、参加も可能です。中・上級編のみ受講したい方は、講習会開始から1時間後に(14時から)参加してください。



日程 2021年 3月 25日(木)
13:00~14:00 / 14:00~15:00

※ご質問等は講習会の最後に受付ます



プログラム

初級編(13:00~14:00) 中上級編(14:00~15:00)

授業での活用事例

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. コースの準備 | 1. 小テスト |
| 2. 基本操作 | 2. クリッカー |
| 3. 教材開発について | 3. 学生の学習活動の把握 |

- M2Bシステム推奨ブラウザでご利用ください。
- 事前にTeamsが利用可能かどうか確認をしてください。
- Moodleのログイン方法がわからない方はM2B事務局までお問い合わせください。



会場:

TEAMS
(オンライン)



対象: 本学に在籍する教職員



講師: 木實 新一 教授(基幹教育院)

小島 健太郎 准教授(基幹教育院)

岡田 義広 教授(教材開発センター)

詳細・参加申込はこちら

<http://lac.kyushu-u.ac.jp/news2/news270.html>

M2Bシステム動作環境

Google Chrome、Firefox (Windows、Mac)



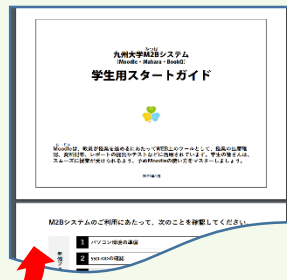
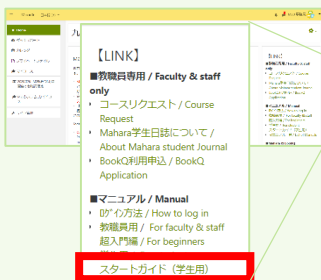
M2B事務局からのお知らせ



スタートガイド(学生用)を掲載しました

学生の皆様にMoodleを利用するにあたり必要な事をまとめたスタートガイドを準備しました。

新入生の皆さんやMoodleをあまりご利用されない方を対象としておりますので、機会がありましたら是非ご覧ください。



講習会 講師紹介

LAセンター センター長

基幹教育院

自然科学理論系部門

教授 木實 新一

専門分野:情報学



基幹教育院

自然科学理論系部門

准教授 小島 健太郎

専門分野:素粒子理論物理学



附属図書館

付設教材開発センター

教授 岡田 義広

専門分野:メディア情報学



M2B

アドバイス

【Moodle】自動出欠ブロックの注意点

コース内に自動出欠ブロックが設定され「自動」で出席をとる場合、学生はコースの講義開始設定時間以後にコースをリロードする必要があります。その際、コース内の自動出欠ブロックを開いた状態でリロードしても「出席」とはなりません。必ずコース内のHOME画面でリロードをしてください。

詳細については以下マニュアルにて

学生用マニュアル：2.3.2 出席を確認する 教職員用マニュアル：2.5.7 学生の出欠確認画面（学生の出欠レポート）

M2B

ワンポイントレッスン 【教員編】

【Moodle】 出欠方法の変更

「自動」で出欠が完了した後の更新について

一度「自動」で出欠確認が「完了」するとそれ以降「リフレッシュ」を押しても情報は更新されません。

出欠情報を更新したい場合は、「出席管理」の授業一覧から、出席を取り直したい日の右端にある「編集アイコン」をクリックした画面で、[未点呼状態へ戻る] ボタンを押してから一覧の画面に戻って「リフレッシュ」を押すと出欠情報を更新できます。

注意：手動、半自動モードでの授業の出欠は更新されません、備考欄のコメントは消失します。

【Moodle】（新機能）PDF注釈

課題の設定で「PDF注釈」を有効にすることで、教師ロールユーザは、提出されたPDFファイルの評定時に、ブラウザ上でコメント、スケッチ、スタンプを直接提出されたPDFにつけることができます。

ただし、設定で「PDF注釈」を有効にしている場合、PDF以外のファイルを提出するとプレビュー画面は白紙で表示される為、ファイルはダウンロードして確認する必要があります。



M2B事務局からのお知らせ 2



2021年度前期・通年のコースの一括登録について

2021年度前期・通年は、M2B事務局へ事前にお申込みいただいた部局・係からのご申請のみ受け付けます。それ以外の部局については、コースの作成は教職員の方ご自身で**コースリクエストよりコースを作成**してください。コースリクエストの一覧にコースが表示されない場合は、担当部局の教務担当窓口までお問い合わせください。



M2Bシステム上で保管しているファイルについて

M2Bシステム上で保管しているファイルは、アカウント消失後、またはコースが削除された後は取り出すことができません。保管が必要なコース上の資料や提出物等は、ご自身のPC等にて保管してください。



M2Bシステム動作環境

Google Chrome・Firefox (Windows・Mac)

これら以外の環境（Chromiumベースではない旧Edge、Internet Explorer、Safariなど）は、正常に動作しないことがありますので**使用しないでください**。



M2Bシステムの利用状況

M2B学習支援システムの利用者数

教職員14002名・学生30158名(累計) (2020年12月現在)



M2Bシステム利用授業数

Moodle	5526コース
Mahara	1584コース
BookQ	3126コース



M2Bシステム利用授業数

